

112カ国から1万4000人参加

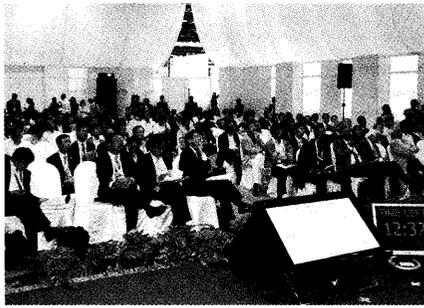
シンガポール
国際水週間
アジアの成長を象徴

report

ア ジア最大級のシンガポ
ル国際水週間(SIWW)
が7月4日から7日までシンガ
ポールで開催された。4回目と
なる今回は「新たな都市環境を
目指す持続可能な水問題の解決
策」がテーマ。初日の開会式で
ターマン副首相は「シンガポ
ルは水問題克服のため、世界中
の水の専門家に呼びかけ解決策
を模索してきた。SIWWの場
でさらに多くのグローバルネッ

トワークが構築されることを期
待する」と述べた。

今回の登録参加者は世界11
2カ国から1万4千人を超え、
同国公共事業庁(PUB)の発
表によると昨年のSIWW期間
内の成約総額は2千億円を超え
た。年々規模を拡大するSIWW
は、アジアの成長と人口増を
支える水ビジネスの隆盛を象徴
しているようだ。



「ジャパンビジネスフォーラム」に詰めかけ、熱心に
聴き入る参加者たち

12カ国が参加した東南アジア
閣僚会議で日本水フォーラム会
長の森喜朗元首相は「日本が世
界に果たす役割」を述べ、続け
て行われた世界水関連業界リー
ダーズサミットでは各国のリー
ダー350人以上がガバナ
ンス、革新的な技術開発などを話
し合った。昨年から併設された
「世界都市知事・市長サミット」
には18カ国から28市のトップが
集まり、ウォーターターコンベン
ションでは50カ国1200人を

超える専門家が428編の研究
発表を行った。

同時に開催されたウォータ
TER EXPOには各国から600社
以上が出展。シンガポール、日
本、中国、韓国、台湾、オース
トラリア、ベルギーなど14カ国
が国際的パビリオンを開設し
た。特に日本パビリオンは注目
を集め、横浜市水道局、東京都
水道局、チーム関西、北九州市
海外水ビジネス推進協議会など
27団体のブースや企業の個別
ブースが技術内容をPRした。

6日には日本勢の目玉の
「ジャパンビジネスフォーラム」
が開かれ、共同議長を務めた私
が「日本の海外水ビジネスへの
参入動向」、北九州市の北橋健
治市長が「官民連携による海外
水ビジネスへの取り組み」につ
いて講演。その後、パネリスト
による討論があり、ハイフラッ
クスCEOのオリビア・ラム氏
から「日本は相手国のニーズを
的確に捉えスピード感を持って
海外水ビジネスに取り組むべき
だ」と提案がなされた。
(寄稿||吉村和就グローバル
ウォータ・ジャパン代表)

水・緑・環境 — Guard IT

社建設コンサルタンツ協会会員
社全国上下水道コンサルタンツ協会会員

OEC オリジナル設計株式会社

本社：〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町30番13号
TEL 03-6757-8800 FAX 03-6757-8807 <http://www.oec-solution.co.jp/>